

## 地域密着型サービスの自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・理念の見直しを行い、職員や利用者、御家族の見える場所に掲示した。  ・入居時のパンフレットにも記入した。	○  ・今後も全スタッフが理念に向けて取組んでいけるように努力していきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取組んでいる	・日々のケアの中で理念が生かせる様にケアプランにも入れている。	○  ・理念が生かせるようなケアができるように取組んでいきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取組んでいる	・地域の方のボランティア訪問時等にも話している。  ・家族の訪問時にも説明を行っている。	○  ・地域の方々にも、グループホームの理解してもらえよう自ら地域との交流に足を向けていきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・散歩時や買物などに出かけ、近隣の方達と挨拶を交わしたり、話しをしたりしている。知り合いの方も居て親しく接している。	○  ・できるだけホームの外の物や人に接していく時間を多く持てるよう努力していきたい。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・納涼祭にお呼ばれしたり、地区の運動会見学に行ったりして地域との交流ができているが、もっと関わりを持っていく必要があると思う。	○  ・気軽に接して行くことが出来るように取組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・地域ケア会議等に参加し、状況の報告や地区の老人会長さん等にボランティアの依頼や交流を促している。	○	・運営推進会議で、テーマにして地区の方々との意見を聞いたりしている。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・前年度の評価の改善の取り組みや自己評価を社内研修とした。	○	・自己評価を社内研修にすることによって本当の意味でのグループとはどんな環境なのかわかったスタッフがいてとても良かった。
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議では、活発な意見が出てとても参考になっている。  ・行政や地域の方がより身近な存在になった。	○	・町内のボランティア活動グループを紹介していただいた。  ・今後の行事等に活動していただけるよう取り組みたい。
9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・地域密着型サービスに移行して、行政との関わりが一層深くなり良くなったと思う。	○	・行政の方の意見やアドバイスを参考にして取り組んでいきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・パンフレットの掲示をしたり、地域包括支援センターの職員の方々と情報支援をする機会がある。（管理者のみで行っている）	○	・スタッフ全員が理解できるように勉強会等の場を持っていきたい。
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・虐待もいろいろあることをケア中や勉強会ではなしている。  (話し方等もくれぐれも注意する様に常に話している)	○	・言葉かけ等、その都度お互いに注意し合う様にしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・説明、ご納得の上で同意印を頂き随時不明点は尋ねられる様に配慮している。  ・理解できない部分等、地域包括支援センターの協力やアドバイスをもらっている。	○  ・当ホームでの対応可能な時期の事や受診の件、入院の際の居室の確保期間等については十分理解していただけるよう説明している。
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ゆっくりお茶をのんだりして、信頼関係づくりに努めている。	○  ・何でも言える、聞けるような関わり方や家族との交流の場を多く持っていただける様に取り組んでいきたい。
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	・面会時に報告したり、家族の遠距離の方には電話を入れたりしている。	○  ・ホーム便りの回数を増やしていきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・面会時には利用者と一緒に話をしたりゆっくりくつろぐ時間をつくっている。	○  ・不満、苦情が表せる様な信頼関係づくりに努めている。  ・家族からの意見や不満に対しては職員会議で計らったりして家族に納得いく様説明している。
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・良い意見等は取り上げて実践に向けての努力はしている。	○  ・個人的意見を聞いたりするような時間的ゆとりを持てるよう努力していきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・数少ない人数の中で何とかとりくめている。	○  ・ゆとりあるケアが出来るように人員の確保につとめたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・半年毎にはスタッフのストレスや人間関係を考慮して異動を行っているが、不安等のないように、随時ユニットの行き来を行っている。</p>	○	<p>・職員が固定化できるようにスタッフ同士の人間関係づくりに努力していきたい。</p>
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・できるだけ勤務の都合をつけ、交代で研修や、勉強会に出席するようにしている。</p>	○	<p>・ゆくゆくは常勤者だけでなく、パートの人達にも出席してもらえるようにしていきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・役場が中に入り、地域のG・Hもちまわりで、交流会（勉強会）をしている。</p>	○	<p>・勤務の都合上全員が一緒にというわけにはいかないで、交代でもみんなが出席できるようにしていきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・定期的に職員同士の交流の場や懇親の場を設けたいがなかなかできないでいる。</p>	○	<p>・月に1度ぐらいユニット別に食事会や、飲み会、ボーリングなどの場を持ちたい。（今は年に3回程度）</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・ホームまでなかなか行けないので、信頼関係がたりなかったり、把握しきれしていない事もあるかと思いますが、日々の勤務や介護状況をみればその努力は見えてきます。スタッフの頑張りには頭が下がります。</p>	○	<p>・職員との信頼関係を密にしていきたいためにも、もっと交流の場をふやしていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・十分にホームのことを理解していただいた上で入居できるようにコミュニケーションを図っている。	・困っていること、不安、求めている事を気付けるよう努力している。入居前に利用していた事業所のケアマネさんに聞くこともある。
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ひたすら傾聴を心がけている。 ・御家族や御本人にも入居に至るまでは納得のいくまで話を聞いてもらったり見学してもらったりしている。	・家族の大変さを話すことにより、気楽になれるように聞き役になっている。  ・相手の気持ちをうけとめるよう努力している。
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・グループホームでの生活に適している状況なのか、デイサービスでも十分に対応できるのではないかの判断をしている。	・地域包括支援センター等との情報交換を行っている。
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・要望を聞き、一緒に計画に参加して頂く。日常生活を観察し相談しながら変更していく。  ・ホームの生活に慣れる迄は、出来るだけ多く訪問の依頼をしている。	・要望を聞き、自分の意思をしっかりと伝えられる方は少ないが、御家族と相談しながら行えている。  ・担当されていたケアマネさんに訪問依頼をすることもある。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・本人の意思を尊重しながら関わるよう心掛けている。	・人生の先輩として尊厳のある言葉かけや行動を心掛けている。  ・理念の実現に向けて努力している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・御家族の来られた時に、計画支援の経過説明、よい情報の提供、困っていることはないか？情報収集を行っている。	○	・まず、スタッフと家族の関係を良いものにする様、連絡の仕方、情報の提供を考えていきたい。 (新聞やお便りなどの充実)
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・御家族の思いを受け止め励ます言葉かけ。  ・面会の少ない御家族への支援があまりできない。	○	・まず、生活過程の把握 ・御家族の思いを知る ・面会の回数が増える取り組み ・いつでもホームに来れる雰囲気づくりに努める。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	・行きつけの美容院に御家族とともに出かけられる利用者があり、今後も続けられる様に支援したい。	○	・今迄生活されていた場所にも一緒に足を向けていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・レク、談話の時を持ち、皆で関われるようにしている。又、トラブル関係になりやすい利用者の観察、早目の回避や気分転換を行っている。		・日頃の状況把握を行っている。  ・役割りを一緒に行えるような関係づくりの支援をしている。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・退居後も、どうされているのか、電話をして状況を聞いたり、お会いした際には、様子を聞いたり、相談事にはのっている。	○	・退居後も気軽に来ていただける様に人間関係をつくってきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・意思表示できる方においては、聞きながらその希望に添えるようにしている。できない方は行動の観察を行っている。	・本人の希望や御家族の希望を聞きながら取り組んでいる。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・基本情報や御家族からの情報収集。 ・場合によっては、包括センターや病院等による情報収集を行っている。	・家族や行政、医療機関との連携を図り、入居後も家族に聞いたりしている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・チェック表、管理表、申し送りにより、把握できている。	・スタッフ間の報連相を密にして一人一人の生活リズムを大切にしている。 ・申し送り簿をフルに活用していきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・月1回のカンファレンス、及び問題や変化時受け持ちや他のスタッフの意見を聞く。 ・御家族への提案と協力を得ている。	・今後も家族との連携を図りながら、より良い暮らしに向けて取り組んでいきたい。 ・他のホームにも良いアイデアはないか伺っている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・スタッフとのカンファレンス。 ・家族へTELや来所依頼をして話し合いを行っている。 ・家族の要望を伺い調整を行っている。	・スタッフ全員が関わり、取り組んでおり、よい意見をケアに取り入れている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン実施表にて、計画のチェックを行い生活記録に記入している。</li> <li>・申し送りの徹底を行いスタッフ全員が把握できるようにしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も情報の共有化を図り、日々のケアに活かしていきたい。</li> </ul>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化により他施設や医療機関での治療等の必要性について等、家族に相談している。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み慣れた地域で終末期がむかえられるようなグループホームを目指したい。</li> </ul>
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踊りやコーラス、三味線等のボランティアの受け入れをしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もボランティア等の受け入れを続けて行き、地域に開かれたホーム作りを目指したい。</li> </ul>
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他ホームへの訪問をする機会はあるが少ない。</li> <li>・協力医療機関への催し事の参加を行っている（年1回）</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他ホームや施設等に出かけて交流を図る機会をもっと増やしたい。</li> </ul>
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターとの情報交換等を行っている。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホーム全体で権利擁護についての勉強会の場等も持てるよう努めたい。</li> </ul>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・御家族への情報提供、必要時は経過報告書の提供や受診の同行を行う時もある。		・専門医やかかりつけ医との連携を図っている。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・専門医のケースワーカーへの情報提供、相談しながら受診、服薬処方している。 ・状態により情報の提供		・専門医の助言やアドバイスをいただきながら支援している。 ・家族の方には認知症に対する理解を深めていただけるようパンフレット等の提供をしたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・1・2号館看護師による利用者の状態について話し合いを行っている。		・毎日健康チェックを行い、状態の変化や異常の早期発見に努めている。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・看護スタッフが病院へ出向き情報交換を行っている。		・入院先のソーシャルワーカーとの連携を図り、御家族にも度々状況を伺っている。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・状況が悪化した際のこと等は契約の際に家族に話している。		・他施設への申請の事をタイミングを見計らって行っている。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・急変時には、すぐに対応して頂けるように医療機関が近くにある。		・協力医療機関やかかりつけ医との連携を密にしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・他施設等に移られる際は、情報提供を行っている。</p> <p>・地域包括支援センターや、行政等への相談を行っている。</p>	<p>○</p> <p>・本人の意思の尊重や他機関との情報交換や、家族との話し合いを行っている。</p>
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・言葉かけや接し方等、常に話し合っている。</p>	<p>・質の向上の為にミーティング等で話している。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・ぬり絵をされたり、歌を唄ったり利用者の好みに合うよう自由時間を作っている。</p>	<p>・自分で選択できるような声かけを行っている。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・利用者のやりたい事を自由に出来るようにしている。</p>	<p>・物事の強制はしないようにしている。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・ホームに美容師を招いているが、希望者がある方は伝えている。又、外の美容室へ行く希望のある方は家族と外出してもらっている。</p>	<p>・御家族と一緒に髪染めに行かれたり、カットに行かれたりしておしゃれを楽しまれている方もおり、今後も継続できる様支援していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者と共に、食器を洗い、台拭きなど行っている。</li> <li>・役割りがあることにより笑顔を見ることができている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜など、刻んでいただいたり、手伝いをしている。</li> <li>・出来ることを一緒にして共に喜べるように支援している。</li> </ul>
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶の時間、コーヒーを出したり、牛乳、ココアなど好みで出している。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りのおやつ、季節の物を出したい。</li> <li>・一緒に手作りおやつをつくる時間を持ちたい。</li> </ul>
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中布パンツ、夜間リハビリパンツ使用にて、見守りを行っている。</li> <li>・排泄チェック表の活用を行っている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・失禁時等、清拭、シャワー浴などを行い、清潔にたもっている。</li> <li>・失敗しなくていいよう行動や仕草によりタイミングの良い声かけ等に工夫している。</li> </ul>
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけに拒否があった場合は時間を置いて入っていただいたり、次回とし、清拭、更衣を行っている。</li> <li>・希望時入浴されている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も続けていく予定外であっても、希望時の入浴を行っている。</li> </ul>
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食後や体調に合わせ、居室にて横になり休まっている。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の意思を尊重している。</li> <li>・生活のリズムは大切にしている。昼寝が長い時は声かけを行っている。</li> </ul>
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除の手伝い、洗濯物干し、たたみなど声かけにて、一緒にしていただいている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手伝いの後には必ず「ありがとう」の言葉かけをしている。</li> <li>・出来ることの喜びの表情が見れてうれしく思う。</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・現入居者様においては、管理能力のある方は少なく、一人の方が管理をされている。  ・どうしても欲しい物を一緒に店に行き購入する。	○	・自分でお金を支払うことにより、社会性の維持につながっており、お金を持っていることで安心感があるように思う。
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・できるだけ屋外へ出かけるよう配慮。  ・レクの時間、散歩できない時は庭園やテラスでのレクを取り入れ、又、自分から外へ希望されれば希望に添うようにしている。又、散歩の時間等を考慮中。		・散歩の時間帯（ほぼ10:30～）にはすでに日差しが強く、疲労が見られる事などから時間、方法等を考慮中、一人で観察できる人数等。  ・外気浴のさらなる取り入れを検討中。
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・個別の希望はないが、季節の花見や、遠足にかけている。  ・御家族の参加は今までにない。	○	・家族も一緒に参加できるように呼びかけていきたい。  ・個別への支援も行っていきたい。
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話の希望のある時は、内容、状態により、スタッフが電話し交代したりしている。  ・字の書く事の可能な方に「母の日」に手紙を書き喜ばれた。		・本人と御家族の良い図りができるよう、誕生日や記念日等を利用していきたい。  ・本人と家族の絆の維持を支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・まず御家族の方々が来やすい雰囲気作りとし、行事等を利用し、お誘いする事や、来られた時の対応に心掛けている。（面会時の声かけや行動等）		・知人の方の訪問は少ないため、家族に声かけしていき、自宅と同じ様に遊びに来れる様グループホームを理解していただくように環境作りに努めたい。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束はしていない、問題のある時は拘束をしなくてよい方法をカンファレンスしている。		・今後も拘束しない支援をしていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・センサーを設置しており、見守りで対応できている。		・日中は、ほとんど鍵をかけず生活している。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・全職員、把握している。		・その都度カンファレンス等で話し合っている。 ・夜間も定期的に巡視を行っている。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・入居者が管理できる物は、居室に保管されている。 ・薬等はホーム内管理している。		・実施されているため継続。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・一人一人のADLにあった声かけ、見守りが把握されている。		・スタッフ間で事故防止のための防止策、徹底のカンファレンスを実施している。 ・ヒヤリハットの活用を行っている。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・看護師が対応している。 ・夜間緊急連絡網の設置をしている。	○	・緊急時の対応をスタッフ全員が出来るよう勉強会をする必要がある。（シュミレーション等） ・心肺蘇生法等の予定をしている。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・定期的な避難訓練はされている ・夜間の緊急連絡網も作っている。	○	・地域の方との交流が少ない。今後の課題である（地域の消防の方等） ・地元の消防団の方に運営推進会議に加わっていただけよう検討中。 ・年1回の専門家による避難訓練の実施を行っている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・誤嚥や転倒に対するリスクについて説明を行っている。		・状況変化時にはリスクについて家族に説明を行い、要望や対応等を話し合っている。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73 ○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎日バイタルチェックや食欲、排泄、入眠状態の管理を行っている。  ・異常時には家族への報告を行っている。		・血圧の異常、発熱などに注意し申し送りの徹底を行っている。  ・スタッフの半数は看護師なので家族は安心されている面がある。
74 ○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服用に対し、バイタルチェックの回数を増やしたり、一人一人の手渡し、口腔投薬をしている。		・誤薬のないように氏名、用法の確認を必ず行っている。  ・副作用については処方箋を見たり、薬品分献集を活用している。
75 ○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・外出散歩を行ったり、レク体操、水分補給や食事に考慮している。  ・排便困難便秘症の方は指示により下剤で排便コントロールを行っている。		・野菜類や繊維の多い食品の取り入れや、牛乳等で工夫している。
76 ○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後の口腔ケアを行い、夕食後は、各自容器にて義歯の付け置きを行っている。（1日おきに洗浄剤）		・コップ、歯ブラシの消毒の徹底を行っている。  ・口腔内細菌による肺炎予防に注意している。（拒否時にはお茶による洗口を促している。）
77 ○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・お茶、汁にトロミをつけたり、水分摂取の少ない方は、汁をお湯で薄め2倍にして水分摂取を行っている。  ・摂取量は本人によりつぎ分けている。		・ゼリーや果物、アイス等、味のある食品等の考慮を行っている。  ・状態により、24時間水分摂取量をチェックすることもある。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下着類や汚染衣類は、75℃に10分間つけおきし、洗濯している。手すり、床はハイター、トイレはエタノールで消毒している。</li> <li>・手拭タオルからペーパータオルで対応している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の流行時には、保健所に出向き効果のある消毒液や使い方、感染拡大防止について保健師に指導を受けた。</li> <li>・感染症対策委員会の設置とマニュアルの作成をしている。</li> </ul>
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週3回の買い物をしている。</li> <li>・調理係りは手袋を使用している。</li> <li>・包丁、まな板、手指の消毒、調理用のエプロンの着用を行っている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鮮度が落ちないように、冷蔵、冷凍の区別を行っている。賞味期限には十分に注意して買い物を行っている。</li> </ul>
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備、危険物の除去、除草を近くの実業所の方に依頼したりしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関には物を置かない様にしている。</li> <li>・スタッフ利用者、家族を交えた除草作業等も取り組めるといいと思う。作業を通じて家族との関わりも増えると思う。</li> </ul>
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フローア、玄関に季節の装飾（利用者の方と作成した物）</li> <li>・気候、日光等に合わせた環境調整を行っている。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室等にも季節感を取り入れることが出来る様に取り組みたい。</li> <li>・妄想を引きおこさない程度の飾りは必要と思うので考慮していきたい。</li> </ul>
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソファ、テーブル等、好きな場所で会話したり、テレビ、雑誌をみる等で過ごすことができる。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強制や無理強いしないように心掛けている。</li> <li>・仲良し仲間作りの支援を行っている。</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・日中は殆んどフロアで過ごされるため、居室は、衣類入れと布団があるのが殆んどである。</p> <p>・希望の物は持って来られるよう家族への説明はしている。</p>	○	<p>・居室で趣味等ができる方は現在のところは少ないが、好きな物、できる物、趣味の物があれば、持ってきていただくよう今後も家族の方に説明していく。</p> <p>・親が使っていたかたみのタンスを持ち込まれている方はいる。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>・臭いの強い時は消臭剤の使用。</p> <p>・換気は各部屋日中は開け、風の強い時や雨天等、天候をみて開閉。</p> <p>・クーラー、暖房の必要時は眠前等の部屋に入る前調節を行っている。</p>		<p>・換気、クーラー、暖房により居室の室温、湿度の調整を行っている。</p> <p>・気温や季節に応じて衣類の調整も行っている。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・歩行 → 手すり、トイレの手すり。</p> <p>・車椅子 → 車椅子操作に十分な広さ、居室のベットまで自己で移動可能である。</p>	○	<p>・安全に生活できるように、危険箇所は修繕を依頼している。</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>・自分でできる事は見守り、声かけ、できるだけ自分でしていただくようにしている。</p> <p>・次の行動や1つ1つの行動をわかりやすく話していく。</p> <p>・同じ作業を同じ方にさせていただいてる。</p>	○	<p>・物の作り方や、調理方法等、教えていただく場面作りに努めている。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>・玄関～危険な物を置かない。</p> <p>・野菜、花を植え、観察し楽しめるようしている。</p> <p>・時に草取り等し、世話を一緒に行う。</p>	○	<p>・中庭の利用をしている。</p> <p>・花の開花や野菜の収穫を楽しむことができている。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、活き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今ある空間が、心地よく心穏やかに過ごして頂ける様、今迄のご家族と共に暮らして来られた雰囲気少しでも近づくことが出来れば、と思う。  
またスタッフ同士の信頼感、スタッフと入居者間の信頼感が築いて行ける様、勉強会、食事会、ミーティングを多く設けている。